

第3節 群馬県の特徴

① 日本を東西南北に結ぶ高速交通ネットワークの結節性

(1) “東京から100km圏”の地理的アドバンテージ

我が国の経済活動の中心であり、巨大市場を形成する東京から100km圏に位置しており、地理的条件に恵まれた立地条件です。

(2) 日本の中央に位置する交通の結節点

本県は、古くから、東京圏、信越地方、東北地方、中京圏を結ぶ広域的な交流の要衝として、様々な交通が発達してきました。

近年では、北関東自動車道の全線開通や圏央道の延伸、さらには北陸新幹線が金沢まで延伸されるなど、東西南北を十字に貫く高速道路や新幹線の整備が進み、全国でも有数の結節性を備えています。

今後も進展し続ける高速交通ネットワークの整備により、本県の潜在力や優位性が一層高まることが期待されます。

(3) 群馬がはばたくための7つの交通軸構想

高速交通ネットワークの効果を県内全ての地域に行き渡らせ、それぞれの地域の特性が存分に発揮される「7つの交通軸」の整備・強化により、県民の日常生活や経済・社会活動を活性化しています。

② 多様で豊かな自然と快適で住みやすい風土

(1) 貴重な自然の宝庫

本県には、県のシンボルである上毛三山(赤城山、榛名山、妙義山)のほか、谷川岳や尾瀬など国内でも屈指の景勝地を有する国立・国定公園や、ラムサール条約湿地である尾瀬、渡良瀬遊水地、芳ヶ平湿地群があるなど、豊かな自然生態系に恵まれています。

(2) 多彩で魅力的な温泉

全国にその名が轟く、草津、伊香保、水上、四万をはじめ、100を超える名湯・秘湯に恵まれています。

(3) 豊富な資源

流域面積日本一である利根川の水源地であるとともに、多くのダムを有し、豊富な水資源に恵まれていることから、本県は首都圏の水がめとして重要な役割を果たしています。

本県の森林面積は関東圏で最も多く、豊かな森林資源を有しています。また、人工林の多くは木材として利用可能な林齢に達していることから、今後の利活用が期待されます。

本県は、年間の日照時間が全国上位で、豊富な水資源、豊かな森林資源を保有しており、再生可能エネルギーを活用した発電・熱利用等に適した条件を備えています。

(4) 自然災害の少なさ

これまでに台風などの風水害、雪害、大規模な地震の発生が比較的少ないことから、県民の多くが「自然災害の少なさ」を強みと感じており、今後も積極的に活用すべきと考えています。

③ 世界に誇れる歴史と文化

(1) 絹の国ぐんま

平成26(2014)年「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録され、同年に富岡製糸場の繰糸所、東置繭所、西置繭所が国宝に指定されました。また、日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」や県内各地に残るぐんま絹遺産など、国内外に誇る絹遺産が数多く存在しています。

(2) 古代東国文化の中心

本県は古代から東国文化の中心地として脈々と築き上げてきた歴史と多彩な文化に富んだ地域です。古代東国文化の隆盛をしのばせる古墳群、さまざまな伝説を持つ由緒ある神社仏閣など、歴史的な文化遺産や文化財が数多く存在します。

(3) 地域に根ざした特有の文化

本県の冬の長い日照時間、からっ風、水はけのよい土壌などは小麦の栽培に適した環境であるため、小麦粉を使った食文化、すなわち「粉食文化」が根付いています。

地方オーケストラの草分けとして長い歴史を持つ「群馬交響楽団」、群馬の歴史や営みを凝縮した「上毛かるた」など、地域に根ざした文化資産が広く県民に親しまれています。

4 多様で高度な産業集積

(1) ものづくり立県

日本の近代化を支えた絹産業から輸送用機器や食料品、電気機器などの製造業に至るまで、長い年月を通じて継承されてきた高度な産業技術の集積があり、「ものづくり立県」として発展しています。

熟練の技が光る多数の伝統工芸品があり、絹織物、たるま、こけしなどが有名です。

(2) 多彩な農林水産物

豊富な水資源や長い日照時間、標高およそ10mの平坦地から1,400mの高冷地までの標高差のある耕地等の環境に恵まれ、年間を通じて新鮮な農林水産物が生産され、野菜や果物、きのこ、米麦、牛肉、豚肉、乳製品、淡水魚など多彩な食材の供給源です。

(3) 医療・ヘルスケア産業拠点の形成

平成25(2013)年に国から地域指定を受けた「群馬がん治療技術地域活性化総合特区」と平成26(2014)年に全国に先駆けて設立した「群馬県次世代ヘルスケア産業協議会」を通じて、県内の中小企業による医療・ヘルスケア産業分野への新規参入を促進する取組をスタートさせたことにより、県内に医療・ヘルスケア産業への期待が高まっています。